

平成27年度事業報告書

個別事業の内容について

I〔公益目的事業〕

1. 手話通訳者派遣事業（公1）

手話をコミュニケーションの手段とする聴覚障害者の社会生活上の意思疎通を円滑にするために手話通訳者及び手話講師の派遣事業に取り組んだ。

（1）手話通訳者派遣事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、手話通訳を必要とする団体（行政・民間企業等）の申し込みを受け付け、岡山県登録手話通訳者に打診し、内定した手話通訳者を派遣した。岡山県手話通訳者登録試験に合格し手話通訳者として岡山県に登録された者を派遣登録しており、本年度は6名を登録した。

平成27年度末現在95名を登録している。

事業実施のための財源 手話通訳依頼者からの手話通訳料を充当した。

①派遣件数

4月…7件	5月…5件	6月…9件	7月…24件
8月…11件	9月…13件	10月…18件	11月…32件
12月…16件	1月…19件	2月…30件	3月…11件
計…195件			

②地区別派遣件数 195件

赤磐…7件	岡山…120件	鏡野…5件	笠岡…2件	加賀…16件
倉敷…17件	久米…1件	久米南…1件	瀬戸内…10件	高梁…3件
津山…2件	美作…2件	真庭…1件	備前…3件	矢掛…2件
和気…2件	新見…1件	計…195件		

③内容別派遣件数 195件

生命・健康…0件	警察・裁判…0件	生活・生計…0件	行政…18件
学校・教育…22件	職業・労働…78件	文化・スポーツ…24件	
会議・集会…37件	聴障協活動…5件	その他…11件	
計…195件			

（2）手話講師派遣事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、団体（行政・民間企業等）のからの申し込みを受け付け、開催される手話講座や手話講義に、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会が認めた手話講師を派遣し、聴覚障害者や手話に関する理解を広げると共に、聴覚障害者の福祉向上と社会参加の促進を図った。講師登録研修を受けた者を毎年登録

しており、平成27年度末現在の登録人数は95名である。

事業実施のための財源 手話講師派遣依頼者からの手話講師料を充当した。

[手話講師派遣実績]

依頼者	派遣日数	派遣人数	備考
高梁市	22日	2人	
就実高等学校	20日	2人	
新見市社会福祉協議会	35日	2人	
浅口市社会福祉協議会	22日	1人	
総社市社会福祉協議会	22日	1人	
岡山県消防学校	3日	2人	
国立吉備高原職業リハビリテーションセンター	17日	1人	
里庄町社会福祉協議会	22日	2人	
清心女子高等学校	1日	10人	
中国短期大学	1日	2人	
里庄中学校	1日	6人	
岡山医療技術専門学校	5日	2人	
鴨方高等学校	1日	12人	
津山東高等学校	2日	2人	高校1年生
	2日	2人	高校2年生
岡山高等歯科衛生専門学校	1日	2人	
後楽館高等学校	1日	2人	
真庭高等学校	1日	2人	
専門学校ビーマックス	24日	5人	
朝日高等歯科衛生専門学校	28日	2人	
岡山市福祉交流プラザさいでん	22日	2人	
玉野市手話講師団	20日	2人	
岡山県警察本部	1日	2人	
OHK岡山放送	2日	4人	
瀬戸内市立行幸小学校	1日	2人	
岡山市立操山中学校	1日	2人	
邑久中学校	1日	6人	
笠岡西中学校	1日	2人	
笠岡市地域福祉課	1日	1人	
玉野手話サークル	1日	3人	
UAゼンセン同盟	1日	2人	
合計	283日	90名	

2. 機関紙一般購読事業（公2）

聴覚障害者の情報不足を補うために、聴覚障害者福祉に関わる情報を提供するとともに、社会に対して聴覚障害者についての理解と啓発を促すため、次の事業を実施した。

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、「社会福祉法人岡山県共同募金会」より共同募金配分金を受けて機関紙一般購読事業を実施した。機関紙は岡山県内の聴覚障害者、賛助会員、手話サークル会員などの手話関係者、購読を希望する一般の方々及び関係機関・団体等へ毎月1回定期的に発行した。（発行部数527部・年間購読料2,000円）

なお、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会の会員には無料配布した。機関紙では、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会の活動報告だけでなく、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会や関係団体等の行事の案内や、災害情報や障害者に関する法律等の情報、全国の聴覚障害に関する様々な情報発信を行った。

事業実施のための財源 「社会福祉法人岡山県共同募金会」より受けている「共同募金配分金」と機関紙購読料及びを充当した。

3. 聴覚障害者のパソコン利用促進事業（公3）

聴覚障害者にパソコン利用に対するサポートや指導を行い、ITに関する知識を高め、社会への聴覚障害者参加の一層の促進を図るために、公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会から「岡山県地域生活支援社会参加促進事業」を受託し、「聴覚障害者のパソコン利用促進事業」を実施した。

（1）パソコンボランティア養成・派遣事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、財団法人岡山県身体障害者福祉連合会から「岡山県地域生活支援社会参加促進事業」に規定する「パソコンボランティア養成・派遣事業」を受託し、以下の事業を行った。

- ①公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会のホームページや機関紙により、聴覚障害者のパソコン利用をサポートするボランティア（聴覚障害者および手話通訳者など手話のできる方）を募集した。
- ②公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、聴覚障害者の視点から、全くパソコンが分からない聴覚障害者に必要とされるパソコンに関する情報を伝えるための方法や、聴覚障害者とボランティアとのコミュニケーション手段をボランティアに正しく伝えられるよう考慮してカリキュラムを設定した。
- ③公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、民間のパソコンスクールに講師派遣を依頼し、受講者の必要により手話通訳者、要約筆記者を手配して、設定したカリキュラムに沿った指導を行った。
- ④公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、カリキュラムを修了した受講生に対し、パソコンボランティアとしての登録可否を確認し、登録可能な受講生を、公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会に報告した。毎年若干名のパソコンボランティアを養成し、報告しており、本年度末は5人を報告した。平成27年度末現在、パソコンボランティアとして87名が登録されている。
- ⑤公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会から「パソコンボランティア派遣のお知らせ」のチラシを受け取り、それをホームページや機関紙などに掲載した。

・実施年月日 平成27年7月6日・13日・8月3日（全3回）

「Office for ipad を使いこなそう！（上級講座） 受講者数5名

・実施場所 岡山県聴覚障害者センター

事業実施のための財源 財団法人岡山県身体障害者福祉連合会からの委託料を充当した。

(2) パソコン利用促進事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会から「岡山県地域生活支援社会参加促進事業」に規定する「パソコン利用促進事業」を受託し、以下の事業を行った。

- ①公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会のホームページや機関紙により、聴覚障害者パソコン教室の開催を通知した。
- ②公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、聴覚障害者のデジタルデバイドを解消するために、聴覚障害者の視点に立って必要とするパソコン情報の取得やパソコン技術の取得ができるよう考慮して適切なカリキュラムを設定した。
- ③公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、民間企業および任意団体などに講師派遣を依頼し、手話通訳者または要約筆記者を手配して、参加した聴覚障害者に設定したカリキュラムに沿った指導を行った。
- ④事業終了後、公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会に報告した。
事業実施のための財源 財団法人岡山県身体障害者福祉連合会からの委託料を充当した。

- ・実施年月日 平成27年12月12日・平成28年1月23日・2月20日（全3回）
聴覚障害者パソコン入門講座 受講者数4名
- ・実施場所 岡山県聴覚障害者センター

事業実施のための財源 公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会からの委託料を充当した。

4、福祉まつり事業（公4）

聴覚障害者、手話関係者、一般県民が交流を深め、聴覚障害者に対する正しい理解を広めること及び、聴覚障害者の自立と社会参加の促進を図ることを目的として次の事業を実施した。

「県民ふれあい手話まつり」事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、財団法人岡山県福祉事業団より「心身障害児者援護基金（ゴルフ基金）」の助成を受けて、美咲町で「県民ふれあい手話まつり」を開催した。

この事業は各支部（岡山支部・倉敷支部・玉野支部・東備支部・笠岡支部・浅口支部・井原支部・美作支部）が持ち回りで順番に実施しており、本年度は美作支部が実施した。（主催は公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会）

手話まつりの対象者は聴覚障害者だけでなく、地域の人を含め誰でも参加することができることとし、入場料や参加費は無料で行った。

手話まつりへは岡山県下の聴覚障害者、手話サークル会員等の関係者及び、地域の一般の方々が一同に会し、講演会等によって聴覚障害者に関わる諸問題について学び、お互いの交流を深め、広げていくことができた。開催場所は美咲町の公民館・体育館等の公共施設を利用した。参加人数は約200名であった。平成27年度に実施された「県民ふれあい手話まつり」は以下の通りである。

平成27年11月15日（日）、美咲町において、「第31回県民ふれあい手話まつり」を開催した。

午前10時から開会式典を行い、その後アトラクションとして手話で美咲町のPRをするDVD上映があり、エイサー、手話朗読、岡山県内初のジュニア向け新体操教室 RAKU RG による新体操が披露された。午後1時20分からは、映画「奇跡のひと ヘレンケラーを知っていますか」の上映会を行った。

協会の機関紙やホームページなどを通して広く一般に呼びかけ、当日200名が参加。聴覚障害者、手話サークル会員などの関係者のほか、美咲町内の地域の方々の来場も見られ、地域交流にふさわしい場となり、地域の一般の方々に聴覚障害者についての理解を広める良い機会となった。

事業実施のための財源 心身障害児者援護基金（ゴルフ基金）の助成金等を充当した。

5. 研修会事業（公5）

聴覚障害者自身の社会参加のための啓発や、聴覚障害者の福利厚生の実現を図るために、研修会事業を実施した。

（1）ろう高齢者の集い事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、「社会福祉法人岡山県共同募金会」より共同募金配分金を受けてろう高齢者の集い事業を実施した。

岡山県内のろう高齢者（高齢聴覚障害者）を中心に情報交換や意見交換、生活防衛のための知識習得等を行い、孤独になりがちなろう高齢者に仲間と交流する場を提供することで、ろう高齢者が充実した生活を送れるよう支援した。対象者はろう高齢者（高齢聴覚障害者）を中心とした聴覚障害者やその家族、手話関係者等である。平成27年度に実施した「ろう高齢者の集い」事業の概要は次のとおりである。

平成27年9月27日（日）、きらめきプラザ7階で開催した。午後1時から各支部から高齢者の活動について報告を行い、「高齢聴覚障害者が安心して暮らせる社会のあり方」について意見交換を行った。

午後からは「ろう高齢者へのアンケート調査について」をテーマに、岡山県手話通訳問題研究会岡山支部長土屋教子氏を招いて講演会を行った。各支部の情報交換を行い、お互いに今後の活動の参考になり有意義な研修会となった。参加は協会の機関紙やホームページで一般に呼びかけ、各支部を通して協会会員外のろう高齢者（高齢聴覚障害者）にも呼びかけを行った。当日は、ろう高齢者を中心に、手話サークルの方々や家族の方など、31名が参加した。

事業実施のための財源 共同募金配分金（社会福祉法人岡山県共同募金会）を充当した。

（2）聴覚障害者フォーラム事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、「社会福祉法人岡山県共同募金会」から共同募金配分金を受けて聴覚障害者の啓発を目的とした聴覚障害者フォーラム事業を実施した。

内容に応じて、「ろうあ運動フォーラム」「聴覚障害者労働問題フォーラム」「聴覚障害者フォーラム」として開催している。

一般財団法人全日本ろうあ連盟や公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会と同じく連盟に加盟している各都道府県団体で活動されている方による講演を行うとともに、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会の役員、会員の聴覚障害者や、手話通訳者、手話サークル会員などの関係者、その他テーマに興味を持つ方々による意見交換を行い、今後の活動方針を話し合った。

平成27年度に実施した「聴覚障害者フォーラム」の概要は次のとおりである。

平成27年12月20日(日)、きらめきプラザで開催。午前10時から「手話言語条例・法の取り組み 共生社会の実現に向けて」をテーマに兵庫県聴覚障害者協会事務局長 嶋本恭規氏を招いて講演会を行った。全日本ろうあ連盟の歩み、兵庫の聴覚障害者の福祉状況、世界ろうあ連盟より報告、手話言語条例の取り組みなどを学習した。参加は協会の機関紙やホームページで一般社会に呼びかけ、当日は聴覚障害者、手話通訳者、手話サークルの方々など、50名が参加。聴覚障害者の福祉向上に向けて討議し、意見発表、情報交換等を行った。

平成28年2月21日(日)、きらめきプラザ7階で開催。午後から手話言語条例制定の実現を目指す目的で講演会を開いた。講師に全日本ろうあ連盟元理事 西滝憲彦氏を招いて演題「手話言語条例制定の実現を目指すために」の講演を行った。手話言語条例の説明、取り組みや交渉方法などを学習した。参加は協会の機関紙やホームページで呼びかけ、当日は聴覚障害者、手話通訳者など約50名参加した。

事業実施のための財源 共同募金配分金(社会福祉法人岡山県共同募金会)等を充当した。

6. ゆずり葉上映事業（公6）

聴覚障害者についての理解や啓発と手話の普及を図るために次の事業を実施した。

映画「ゆずり葉」上映事業

映画「ゆずり葉」は、財団法人全日本ろうあ連盟が創立 60 周年を記念して制作した映画である。

1. ろう者についての理解や啓発と手話の普及を図ること
2. 親や子どもたちに夢を与えること
3. 新しい映像文化を創造すること

以上を目的に上映運動を展開した。

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、一般財団法人全日本ろうあ連盟と映画上映についての契約を締結し、岡山県での「ゆずり葉」上映事業を主催として実施した。上映を希望する教育機関が、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会に上映権料として定められた金額を支払い、上映を行った。なお、平成 25 年度から岡山県映画普及センターへ委託して実施している。平成 27 年度は岡山映画普及センターと業務委託契約を結び高等学校に上映希望を斡旋した。

平成 27 年度に実施した上映

平成 27 年 11 月 9 日 倉敷高校

事業実施のための財源 上映権料を充当した。

平成 27 年度の上映は上記の 1 回であった。

7、岡山県聴覚障害者センター管理運営事業（公7）

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、聴覚障害者の社会参加と自立促進のため、独自事業として手話通訳者の養成・派遣を中心に組み立て、それをさらに拡充するために岡山県聴覚障害者センターの指定管理を受け、効率的に各事業を実施した。

岡山県と公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会とは岡山県聴覚障害者センターの管理に関する包括協定書及び年度協定書を結び、以下の事業を行った。なお、管理運営にあたっては、岡山県聴覚障害者センター運営会議において聴覚障害者の視点を生かすことを努めた。

（1）聴覚障害者用の自主制作映画等の制作

1. 目的 聴覚障害者の福祉の増進及び各種情報提供に資するため、自主制作映画等を制作する。

2. 内容 身近な地域情報や社会的・文化的な情報などを主な内容とし、情報保障のためにすべてに字幕や手話の挿入を行った。

3. 岡山県聴覚障害者センターの職員と共にボランティアの協力を得てビデオ制作にあたった。撮影、編集、字幕・手話挿入などの専門的な技術研修を行い、良質なビデオの制作に努めた。

4. 平成27年度実績 年間6本の企画ビデオ及び、1本の字幕挿入ビデオを制作した。

自主ビデオの作成

◇制作ビデオ

	制作ビデオのタイトル	経過
①	動画ブログ「ヒロヒゲの手話語り」	216話掲載
②	それいけくいしんぼ「岡山名物さわら料理あれこれ」 (目で聴くテレビへ提供)	完 成
③	つつうらうら「四季おりおりの岡山後樂園」 (目で聴くテレビへ提供予定)	完 成
④	「四季おりおりの岡山後樂園」 (ライブラリー貸出用) DVD	完 成
⑤	〃 (ライブラリー貸出用) ブルーレイ版	完 成
⑥	ヒロヒゲの手話語りDVD 11巻～16巻 (計6本)	完 成
⑦	「岡山城 川面に映える漆黒の烏城」 (ライブラリー貸出用)	制 作 中
⑧	「岡山名物 さわら料理あれこれ」	完 成

	(ライブラリー貸出用)	
--	-------------	--

◇字幕挿入ビデオ

	製作ビデオのタイトル	経過
①	「鐘太鼓 大数珠廻して百万遍」 (県立図書館デジタル大百科作品)	制作準備中
②	「阿波八幡神社 花祭り」 ((財)岡山県郷土文化財団作品)	完 成
③	「平川の渡り拍子」 ((財)岡山県郷土文化財団作品)	財団確認中
④	「岡崎嘉平太」 ((財)岡山県郷土文化財団作品)	財団確認中
⑤	「犬養木堂」 ((財)岡山県郷土文化財団作品)	財団確認中

(2) 自立支援拠点活動支援事業

1. 目的 聴覚障害者の福祉の増進ならびに自立の支援を行うために、各種講習会等を開催し、生活文化の向上と社会参加の促進を図る。
2. 対象 聴覚障害者(ろう者、中途失聴者、難聴者)
3. 方法 県内広範に会場を設け、講習会や講座を実施した。

4. 自立支援拠点活動支援のための講座

- ①一般講座 17回 参加者 496名
- ②難聴者の手話教室 15回 参加者 151名

5. 自立支援拠点活動支援のための講座(内訳)

【ろう者対象の講演会等】

日時	内 容	会 場	人数
4月19日	ろう孤独死をなくそう	岡山県聴覚障害者センター	37
6月8日	運転免許特定任意講習会	岡山県運転免許センター	6
6月8日	笑い文字講座	サンライフ玉野	22
8月4日	ろう孤独死をなくそう	ウィズセンター会議室	20
8月9日	マナーについて	津山市障害者福祉センター	80
10月3日	成年後見制度について	赤磐市立中央公民館	15
10月19日	マイナンバー制度の説明会	岡山県聴覚障害者センター	45
10月24日	心の健康 -ストレスとの上手な付き合い方	きらめきプラザ7階	15

	-		
11月9日	防災について	くらしき健康福祉プラザ	34
12月13日	マイナンバー制度説明会	きらめきプラザ4階	3
12月14日	運転免許特定任意講習会	岡山県運転免許センター	43
1月5日	薬の正しい飲み方	きらめきプラザ6階 (ウィズセンター)	54
1月25日	兵庫県の災害と防災について ～私たちに出来ることは?～	岡山県聴覚障害者センター	33

【中途失聴者・難聴者対象の講習会等】

開催	内容	人数	会場
(毎月2回)	難聴者のための手話教室	151	岡山市

(3) 手話通訳者養成事業

1. 目的

聴覚障害者の自立と社会参加、福祉の増進を図るため、手話通訳者の養成を行う。

2. 対象

聴覚障害者等の福祉に理解と熱意を有し、手話で特定の聴覚障害者と日常会話が可能な程度の者を対象に公募した。

3. 方法

厚生労働省通知の「手話奉仕員及び手話通訳者の養成カリキュラム」に則り、「基本課程」2講座(42時間)「応用課程」(42時間)「実践課程」(24時間)の3課程を設けた。身体障害者福祉の概要や手話通訳の役割・責務を理解させ、手話通訳に必要な手話語彙や手話通訳表現技術等の指導を行った。

4. 平成27年度実績

①手話通訳者養成講座の開催

講座	回数	終了者数	開催地
基本課程Ⅰ	21	21人	岡山市
基本課程Ⅱ	28	27人	倉敷市
応用課程	21	14人	岡山市
実践課程	12	8人	岡山市

②平成27年度岡山県手話通訳者登録試験【手話通訳者全国統一試験】の実施

- ・実施年月日 平成27年12月5日
- ・実施場所 岡山県聴覚障害者センター
受験者数 34名
合格者数 6名

岡山県聴覚障害者福祉協会と岡山県手話通訳問題研究会及び岡山県手話通訳士協会

の協力を得て実施委員会を設置し実施した。合格者について本人の承諾を得て岡山県認定手話通訳者として6名登録した。

③手話講座指導者の養成のための講座への派遣

- ・手話通訳者養成担当講師連続講座 広島市へ4名派遣した。

⑤県登録手話通訳者を対象として頸肩腕症候群特殊健康診断を実施した。

- ・対象：岡山県登録手話通訳者 94名
 - 一次健診 問診票による健診 85名受診
 - 二次健診 医師による健診 15名受診
- 医師：玉島協同病院 道端達也医師

(4) 手話通訳士養成事業

1. 目的

「障害者総合支援法」が施行されたことや、裁判員制度の発足、政見放送への手話通訳導入の拡大などにより、手話通訳者により高い専門性を持った人材の確保が求められており、登録手話通訳者を対象とした研修を行い、手話通訳士を養成し、手話通訳士を養成し、聴覚障害者の福祉の増進を図る。

2. 対象

- ・手話通訳士養成研修 登録手話通訳者
- ・手話通訳士現任研修 手話通訳士
- ・指導者養成研修 講師予定者

3. 方法

- ・手話通訳士養成研修 登録手話通訳者が手話通訳士の資格取得に向けた知識・技能の習得を図るため研修を実施した。
- ・手話通訳士現任研修 手話通訳士の知識・技能の向上を図るため、現任研修を実施した。
- ・指導者養成研修 手話通訳士養成研修の講師を確保するため、全国手話研修センター（京都市）が実施する講師研修会へ講師予定者を派遣した。（4名）

4. 平成27年度実績

①【手話通訳士養成研修】

- ・実施年月日 平成27年5月10日～8月30日（5回）
- ・実施場所 岡山県聴覚障害者センター
- 修了者 4名

②【手話通訳士現任研修】

- ・実施年月日 平成27年5月10日～8月30日（5回）
- ・実施場所 全国手話研修センター

修了者 2名

③【指導者養成研修】

・実施年月日 平成27年11月7日～11月8日（1回）

・実施場所 全国手話研修センター

修了者 4名

5. 第27回手話通訳技能認定試験（全国手話通訳士試験）

・実施年月日 平成27年10月3日～4日

受験者数 12名

合格者 0名

6. その他

実施方法については、岡山県聴覚障害者センター、岡山県聴覚障害者福祉協会及び岡山県手話通訳士協会が事業実施のための委員会を設立して決定した。

（5）要約筆記養成事業

1. 目的

聴覚障害者の福祉に理解と熱意を有する者に対して、手話取得の困難な中途失聴者、難聴者のコミュニケーションの手段としての要約筆記の指導を行うことにより、高い専門性をもった要約筆記者の養成を行う。

2. 要約筆記者養成事業

・実施年月日 平成27年6月7日～12月13日（19回）岡山市

・受験者数 27名

・修了者 25名（7名登録）

3. 要約筆記者登録試験

・実施年月日 平成28年2月21日

・受験者数 25名

・合格者 7名

4. 要約筆記者指導者養成研修への派遣

（西日本会場）

平成27年7月31日～8月2日 1人 京都市

平成27年9月11日～9月13日 1人 京都市

平成27年10月23日～10月25日 1人 京都市

（東日本会場）

平成27年7月18日～7月20日 1人 東京都

平成27年8月21日～8月23日 1人 東京都

平成27年10月10日～10月12日 1人 東京都

（6）手話通訳者設置事業

1. 目的

身体障害者の福祉に理解と熱意を有する手話通訳者を設置し、聴覚障害者及び音声又は言語機能障害者（以下「聴覚障害者等」という）の家庭生活及び社会生活におけるコミュニケーションの円滑化を推進し、聴覚障害者等の福祉の増進を図ることを目的とする。

2. 内容

手話通訳者2名（手話通訳士資格者）を配置

3 主な業務

- ①病気や交通事故など緊急時の手話通訳業務
- ②きらめきプラザ内での手話通訳業務
- ③ろう者団体の要請による手話通訳業務
- ④聴覚障害者の生活相談業務
- ⑤市町村手話通訳者派遣及び各種団体手話通訳者派遣のコーディネート業務
- ⑥その他

(7) 意思疎通支援者派遣連絡調整事業（連絡調整）

1. 目的

意思疎通支援を行う者の派遣に係る市町村相互間の連絡調整等広域的な対応を行い聴覚障害者の福祉増進を図る。

2. 対象 市町村

3. 平成27年度実績（年間派遣数）

手話通訳派遣について、市町村と委託契約を結び、広域派遣コーディネートを行った。

- ・広域派遣数 268件 284人
- ・同一市町村派遣 137件 155人

(8) 意思疎通支援者派遣連絡調整事業（派遣）

1. 目的

専門性の高い意思疎通支援を行う者の派遣を行い、聴覚障害者の福祉の増進を図る。

2. 年間派遣数

【岡山県聴覚障害者福祉協会】

- ・手話通訳者派遣数 17件 38人
- ・要約筆記者派遣数 6件 21人

【岡山県難聴者協会】

- ・手話通訳者派遣数 1件 1人
- ・要約筆記者派遣数 17件 55人

【その他の団体】

- ・手話通訳者派遣数 3件 6人
- ・要約筆記者派遣数 2件 8人

3. 団体別派遣数

【岡山県聴覚障害者福祉協会】（手話通訳者）

	開催年月日	会議・催事名	派遣人数
1	4月6日	青鳥理容文化会定期総会	1
2	4月19日	県聴障協女性部定期総会	1
3	6月21日	岡山県聴覚障害者福祉協会 定期総会	4 (2)
4	6月21日	〃 講演会	3
5	7月3日	県身障連女性部総会	2
6	7月3日	県身障連女性部バザー	2
7	7月29日	中国地区女性集会「記念講演会」	2
8	8月2日	第30回記念岡山県手話通訳問題研究集会	5 (9)
9	9月13日	講演会「就労支援B型作業・サロン開設を目指して」	2 (4)
10	9月20日	聴覚障害者地域支援センター（仮称）設立準備委員会	2 (2)
11	10月6日	「ご存じですか？マイナンバー」についての説明会	2
12	11月15日	県民ふれあいまつり	5 (4)
13	12月20日	手話フォーラム	2
14	1月18日	「マイナンバー」説明会	2
15	2月21日	手話フォーラム講演会「手話言語条例制定の実現を目指すために」	2
16	3月27日	高齢部定期総会式典	1

※（ ）は要約筆記者で外数

【岡山県難聴者協会】（手話通訳者・要約筆記者）

事業運営会議・難聴研修交流会など開催し、手話通訳者17件（要約筆記者1件）派遣した。

【その他の団体】手話通訳者3件（要約筆記者8件）

(9) 字幕入りビデオカセットライブラリー貸出事業

1. 目的

テレビ番組等に字幕を挿入したビデオカセットテープ等の貸出を行うことにより、聴覚障害者に対する情報提供に資する。

2. 字幕付きビデオの貸出

・利用者数 83人 157本

3. 手話学習ビデオ・書籍の貸出

・利用者数 155人 288本

(10) 聴覚障害者コミュニケーション機器貸出事業

1. 目的

コミュニケーションの困難な聴覚障害者の自立自助努力を助長するため、地域における各種大会行事等に聴覚障害者コミュニケーション機器を貸し出すことにより、聴覚障害者に対する理解と地域ボランティアの拡充を図り、聴覚障害者の福祉の増進を図ることを目的とする。

2. 年間の利用状況

- ・利用者件数 463件 136人
(プロジェクター・パソコン・ビデオデッキ・マイク等)

(11) 聴覚障害者関係地域ボランティア研修事業

1. 目的

手話・要約筆記に係る地域ボランティアの養成及び活動の動活性化を進めるために、手話通訳者及び要約筆記者に対し研修を行い、聴覚障害者の福祉の増進を図ることを目的とする

2. 研修会

	年 月 日	内 容	対 象
①	平成 27 年 6 月 28 日 (日)	◇事例検討・実技学習 ◇講演―「聴覚障害者からみた手話通訳者像」 講師― 岩本 重雄 氏 (全国手話研修センター人材養成課長)	手話通訳者 69名
②	平成 28 年 2 月 28 日 (日)	◇事例検討 ◇講演―「障害者差別解消法について」 講師―水谷 賢 氏 (岡山パブリック法律事務所)	手話通訳者 午前 59名 午後 65名
③	平成 27 年 5 月 17 日 (日)	◇要約筆記者証交付式 (交付者―障害福祉課長) 対象：平成 256 年度岡山県要約筆記者登録試験に合格し、岡山県に登録した者―29 名 (出席者―26 名) ◇学習―「要約筆記者のあり方」 講師―岡山県要約筆記団体連絡会講師団	要約筆記者 78名
④	平成 28 年 3 月 12 日 (土)	◇講演―「コミュニケーション支援の新たな展開 ～障害者差別解消法の施行を控えて～ 講師―新谷 友良氏 (全日本難聴者・中途失聴者団体連合会理事長)	要約筆記者 64名

(12) 専門性の高い意思疎通支援を行う者の派遣事業

1. 目的

県内の聴覚障害者関係団体が実施する公益性の高い行事などにおいて、市町村の手話通訳者及び要約筆記者では対応が困難な場合に手話通訳者等の派遣を行い、当該行事などの実施を支援する。

2. 対象

県内の障害者団体等が主催又は共催する広域的な行事に派遣する場合のほか市町村での対応が困難である場合や知事が特に必要と認める場合も本事業の対象とした。

3. 方法

年度当初、聴覚障害者関係団体から、事業計画書を提出させ、予算の範囲内で実施した。

【岡山県聴覚障害者福祉協会】

手話通訳者 17件 38人 要約筆記者 6件 21人

【岡山県難聴者協会】

手話通訳者 1件 1人 要約筆記者 11件 55人

【その他団体】

手話通訳者 3件 6名

(13) 災害救援専門ボランティア研修事業

1. 目的

県が登録している災害救援専門ボランティア（手話通訳及び要約筆記者等の分野）に係る専門的な技術のレベルアップやボランティア意識の向上を図ることを目的とする。

2. 研修会

	年 月 日	内 容
①	平成 27 年 9 月 13 日（日） 参加者：101名	◇講演—災害に備えて～私たちが心得ておくべきこと～ 講師—岡山県備前県民局地域づくり推進課 主任 内田 浩太 氏
②	平成 28 年 1 月 31 日（日） 参加者：71名	◇講演—聴覚障害者の減災活動について ワークショップ—災害時・避難所での聴覚障害者への支援のあり方 講師—三重県聴覚障害者支援センター 所長 倉野 直紀 氏

(14) 聴覚障害者の相談業務

1. 目的

聴覚障害者及びその家族等の相談に応じ、必要な助言・情報提供・適切な専門機関への紹介等を行う。

2. 年間相談件数（ろう者・難聴者・親族・健聴者等）

・相談件数 266件 相談者数 289人

（15）手話通訳者育成、要約筆記者育成人材確保事業（地域人づくり事業） （岡山県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業）

1. 目的

手話通訳者及び要約筆記者の聴覚障害者の社会参加及びコミュニケーション支援ニーズに対応できる人材の育成を確保するため、実施した。

2. 職務内容

手話通訳者養成講座及び要約筆記者養成講座他各種主催事業の業務及び手話通訳派遣業務、字幕挿入ビデオ作成業務、相談業務を行った。

3. 方法

手話通訳者育成、要約筆記者として活動に参加する意欲ある人を公募により、選考を経てそれぞれ1名ずつ確保し、岡山県聴覚障害者センター内に常勤し、職務にあたった。

4. その他

将来手話通訳者育成、要約筆記者として聴覚障害者の支援を行うための専門的な能力を育成するために各種研修に派遣した。

「岡山県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業」

この事業は国から県へ交付された緊急雇用創出事業臨時特例交付金を財源として造成した岡山県緊急雇用創出事業特例交付金を活用して、失業者を雇用したうえで、OJTとOFF-JTにより人材育成を行う事業を実施するものである。これについて岡山県と公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会とは契約書を締結し実施した。

事業実施のための財源 この事業は岡山県より委託を受けている「緊急雇用創出事業臨時特例交付金」を充当した。

（16） その他の事業

聴覚障害者センターの管理に関する年度協定に規定する「その他聴覚障害者の福祉向上のための事業」であり、センターで独自に企画した事業。

一. 広報活動の充実

- 1 広報誌「センターだより」の発行
第40号～43号 年4回発行・郵送配布
- 2 ホームページの公開

二. 手話通訳者派遣のコーディネーター

1 目的

聴覚障害者に対する情報保障を推進するため、各種団体の要請を受け、県下全域にわたって手話通訳者派遣のコーディネーターを行う。

2 年間派遣件数

団体派遣数 195件 367人

三. お昼休みのミニ手話教室

1. 目的

きらめきプラザ内に勤務する各種団体職員を対象に、簡単な手話の講習を継続的に行い、館内のコミュニケーション・バリアフリー化を進め、聴覚障害者の福祉増進を図る。

(1) 対象：きらめきプラザ内に勤務する各種団体職員

(2) 回数：月2回（第1，第3木曜日）

(3) 場所：きらめきプラザ1階ホール

(4) みんながきらめく手話の会

1. 目的

手話の講座を修了した人を対象に、手話を介して交流や学習をすることにより、手話によるコミュニケーション能力を高めるとともに、高いレベルの手話を学びたいという意欲を育てる。

(1) 対象：手話に興味がある人

(2) 回数：毎週木曜日

(3) 内容：手話を介した交流・学習会

四. 「しゅわ」の集い

1. 目的

登録手話奉仕員を対象に研修を行い、奉仕員としてより手話に親しむとともに、ボランティアとして活動する意欲を高める。

2. 実施状況

※開催実施 4回 23人

五. 手話通訳者の集い

1. 目的

登録手話通訳者を対象に研修を行い、通訳者としてより一層の手話技術の向上と通訳者として活動する意欲を高める。

2. 実施状況

※開催実施 4回 37人

六. のびのびこどもひろば

1. 目的

聴覚障害児と聞こえる子どもたちが一緒に活動する中で、聴覚障害について理解を深めるとともに楽しむことのできる場を設ける。

※開催状況：8月29日 参加者数 22人

2. 内容：手話かみしばい、つみき競争、ミニライトづくり、コリントゲーム、魚釣り

七. 災害対策本部

◇ 災害対策本部の活動内容

項 目	内 容
(1) 構 成	<p>1 設 立 平成20年4月「岡山県聴覚障害者災害対策本部」を設立</p> <p>2 構成団体</p> <p>① 岡山県聴覚障害者福祉協会 ② 岡山県難聴者協会 ③ 岡山県手話通訳問題研究会 ④ 岡山県要約筆記団体連絡会 ⑤ 岡山県聴覚障害者センター</p>
(2) 目 的	<p>1 県内で緊急災害が発生した際、情報収集、支援活動の検討を行う。</p> <p>2 緊急災害の発生に備え、聴覚障害者の防災意識と災害対応能力の向上を図る。</p>
(3) 活 動	<p>◇第1回会議（研修会）・災害救援専門ボランティア研修会と共催</p> <p>・実施日：平成27年9月13日（日）</p> <p>・内 容：講演会</p> <p>演 題—災害に備えて～私たちが心得ておくべきこと～</p> <p>講 師—岡山県備前県民局地域づくり推進課 主任 内田 浩太 氏</p> <p>・参加者：101名</p> <p>◇第2回会議（研修会）</p> <p>・実施日：平成28年1月31日（日）</p> <p>・内 容：講演会</p> <p>演 題—聴覚障害者の減災活動について</p> <p>ワークショップ—災害時・避難所での聴覚障害者への支援のあり方</p> <p>講 師—三重県聴覚障害者支援センター 所長 倉野 直紀 氏</p> <p>・参加者：71名</p>

八. ろう高齢者交流会

1. 目的

日ごろ、人との交流が少ない高齢聴覚障害者が同じ障害の友人や青年、女性と楽しい一時を持つ機会を提供する。

①開催日時：平成 27 年 12 月 20 日（日）

②開催場所：きらめきプラザ 401 会議室

③内 容：岡山県手話通訳問題研究会 手話朗読「現代版桃太郎」等
高齢部、女性部との交流

④助 成：梶谷福祉基金

⑤参加者：71 名

九. 中期目標の評価と見直し

1. 目的

センターの各種事業の成果については、平成 23 年度に策定し、平成 25 年度に一部改正した中期計画に基づき、新たな評価指標を策定し、これに基づく事業評価を実施する。評価結果については、センター運営委員会、運営会議に報告し、外部評価を実施する。

なお、本計画は計画期間中であるが、国の制度改正に伴い事業内容や財源に変更が生じたため、見直しを行う。

また、本計画が平成 28 年度で終了するため、次期中期目標の策定に向けた検討を進める。

2 平成 26 年度事業評価

(ア) 総合評価・・・2.9

(イ) 公表方法・・・◇第 2 回センター指定管理者運営委員会

(H27.7.29 開催)

◇センター運営会議 (H28.3.13 開催)

◇センターHP

十. 学校教育との連携

1. 目的

県内の小中学生等を対象に、総合的な学習の時間等を活用して、聴覚障害者センターで聴覚障害者に対する理解を深めるため、体験学習を行う。

2 実施回数

回数	年月日	学校名	参加者数	備考
第 1 回	H27. 5. 29	県立岡山聾学校	11 名	施設見学
第 2 回	H27. 6. 25	岡山市立後楽館高等学校	170 名	学校訪問
第 3 回	H27. 10. 7～8	岡山市立伊島小学校 4 年	135 名	校外学習
第 4 回	H27. 10. 29	岡山市立瀬戸中学校	16 名	校外学習

小 計			332名	
-----	--	--	------	--

十一．関係機関や地域社会との連携

1. 目的

聴覚センター単独での事業運営には限界があるため、地域社会や他の公共施設、団体との相互連携活動を推進し、事業内容の充実と多様化を図る。また、文化講演会などの開催を検討する。

2. 実施状況

回数	年月日	連携団体名	連携事業内容	備考
第1回	H27. 7. 8	岡山県立博物館	吉備の国文化遺産ムービーライブラリー DVD 寄贈	3セット
第2回	H27. 11. 15	たつの市手話サークル「あゆ」	施設見学	24名
第3回	H27. 11. 16	川西市民生委員児童委員協議会連合会	施設見学	26名

十二．聴覚障害者生活支援グッズの貸出

1. 目的

コミュニケーションの困難な聴覚障害者の自立自助を助長するため、生活応援グッズを貸し出すことにより、聴覚障害者の日常生活の円滑化を図り、聴覚障害者の福祉増進を図る。

2. 年間の利用状況

利用件数 3件 7人

十三．岡山県青少年総合相談センター事例研修会

1. 目的

きらめきプラザ内の各相談機関の連携並びに相談員の資質向上を図る。

2. 実施回数 12回 287人

十四．全国聴覚障害者情報提供施設協議会 中国/四国ブロック理事

1. 目的

当センターは、昨年度から2カ年（平成27年6月2日まで）、全国聴覚障害者情報提供施設協議会の理事に就任しており、ブロック担当者研修会などの円滑な実施に努める。

2. 会議等の状況

(1) 理事会

(2) ブロック会議

(3) ブロック担当者研修会

- ・開催日：平成28年1月21日～22日
- ・場 所：香川県高松市、eーとぴあ・かがわ
- ・参加者：6名

(4) 全国手話研修センター評議員会

- ・開催日：平成27年5月30日(土)
- ・場 所：全国手話研修センター

十五. 全国聴覚障害者情報提供施設協議会 手話通訳事業に関する専門委員会

1. 目的

当センター職員が、昨年度から、全国聴覚障害者情報提供施設協議会の手話通訳事業に関する専門委員会委員に就任しており、手話通訳に関する担当者研修会などの円滑な実施に努める。

2. 委員会等の状況

(1) 専門委員会の開催

①第1回

- ・開催日：平成27年4月24日(金)
- ・場 所：京都市聴覚言語障害センター

②第2回

- ・開催日：平成27年10月1日(木)
- ・場 所：京都市聴覚言語障害センター

③第3回

- ・開催日：平成28年1月22日(金)
- ・場 所：京都市聴覚言語障害センター

(2) コミュニケーション支援事業担当者研修会

- ・開催日：平成27年7月8日～10日
- ・場 所：京都市聴覚言語障害センター
- ・内 容：7/8【難聴者支援のために】
 - ・基調提案「情報提供施設と難聴者生活支援」
前田 定幸 氏（全国聴覚障害者情報提供施設協議会理事）
 - ・事例提起「要約筆記担当コーディネーターから」
専門委員
 - ・講義「難聴者のニーズの理解」
三宅 初穂氏（東京手話通訳等派遣センター）
- 7/9【コーディネート】
 - ・講義「何をどうコーディネートするか～元気になれるソーシャルワーカー論」
山下 憲昭氏（大谷大学教授）
 - ・グループ討議「コーディネートの実際」

- ・グループ発表

7/10 【意思疎通支援偉業の動向】

- ・講義「意思疎通支援事業の動向」

近藤 幸一氏

(社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会統括センター所長)

十六. 指定管理者運営委員会

平成17年のセンター設立以来、センターの適正な運営を図るため、岡山県聴覚障害者福祉協会と岡山県難聴者協会からそれぞれ選出された7名の委員で岡山県聴覚障害者センター指定管理運営委員会を構成し、センターの運営について協議する。

指定管理者運営委員会の開催実施 6回

事業実施のための財源 上記の(16)の一から十六までの事業は岡山県聴覚障害者センターの運営に係る岡山県からの指定管理料、受講料等を充当した。

II 収益事業

(1) 出版物販売（収1）

財団法人全日本ろうあ連盟から販売されている書籍等及び公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会が独自作成した書籍等を事務所で常時販売し、公益社団法人岡山県聴覚障害者主催の社員総会やふれあい手話まつり及び岡山県手話通訳問題研究集会や耳の日の集いの共催事業時に販売を行った。

(2) その他の収益事業

①コピー機器の使用料

各種イベントで使われる拡大コピー機の印刷の使用料の徴収を行った。

②事務手数料の徴収

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会の支部行事や会員がスポーツ大会に参加する際の事務手続きのための手数料を徴収した。

その他

(1) 保健体育に関する事業（収2）

聴覚障害者の心身の健康とスポーツ活動の推進を図るため、体育部の中に各種運動部を設け、全国・中国地区・岡山県等のスポーツ大会に選手派遣するとともに、各種委員会に出席した。

日 程	内 容	会 場
4月26・29・5月10・16	第15回岡山県障害者スポーツ大会	岡山市
5月16日～5月17日	第7回中国・四国地区ろうあ者体育大会	広島県
5月16日～5月17日	第15回全国障害者スポーツ大会聴覚障害者バレー競技中国・四国地区予選大会	広島県
9月17日～9月20日	第49回全国ろうあ者体育大会	京都府
10月24日～10月26日	第15回全国障害者スポーツ大会	和歌山県

(2) 全国手話検定試験実施

8月31日 第10回全国手話検定受験者のための学習セミナー 岡山市
対象者 5級、2級

10月10日～11日 第10回全国手話検定試験 岡山市
試験 5級、4級、3級、2級

(3) 聴覚障害者の福利厚生に関する事業

日 程	内 容	会 場
6月21日	第4回公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会福祉大会及び第4回社員総会	岡山市
9月8日	第9回岡山県高齢者のつどい	岡山市
9月29日	聴覚障害者フォーラム研修会	岡山市
11月17日	第31回県民ふれあい手話まつり	美咲町
平成28年2月28日	2017年耳の日の集い	岡山市

(4) 関係官庁及び関係団体との連絡と協力に関する事業

ア. 岡山県・岡山県身体障害者福祉連合会等の会議への出席

イ. 全日本ろうあ連盟関係その他の各種行事、研修会等への派遣実施

日 程	内 容	会 場
6月10日～6月14日	第63回全国ろうあ者大会	群馬県
7月23日～7月24日	第29回全国ろうあ者相談員研修会	青森県
8月8日～8月9日	第34回全国ろうあ青年活動者会議	福島県
10月29日～10月31日	第26回専従職員研修会及び出版物対策研	新潟県

	研究会議	
9月2日～9月6日	第29回全国ろう高齢者大会及び第5回全国ろう高齢者グラウンドゴルフ大会	北海道
10月23日～10月25日	第45回全国ろうあ女性集会	富山県
11月21日～11月23日	第49回全国ろうあ青年研究討論会	新潟県

(5) 中国地区ろうあ連盟関係の各種行事や研修会への派遣

日 程	内 容	会 場
7月14日～7月15日	第39回中国地区ろうあ女性集会	岡山県
11月7日～8日	2015年度中国地区合同手話研究集会	山口県
11月28日～11月29日	2015年度中国地区合同研修会	鳥取県

(6) 手話関係団体との連携・協力

一般社団法人岡山県手話通訳問題研究会との連携を深めるため、連絡・会議・研修会を開催した。

- ア. 二団体代表者会議 毎月1回開催
- イ. 聴覚障害者の参政権をすすめる会
- ウ. 手話放送委員会
- エ. 各種行事の連絡会議、研修会

県内の手話サークル会員・手話通訳者・聴覚障害者が一堂に集まり、手話・聴覚障害者問題について研究・意見交換を行い、お互いの資質向上を図った。

開催実施

日 程	内 容	会 場
8月2日	第30回岡山県手話通訳問題研究集会	岡山市
8月21日～8月23日	第48回全国手話通訳問題研究集会	三重県

(7) 聴覚障害者関係団体との連携・協力

一般社団法人岡山県手話通訳問題研究会、公益社団法人岡山県難聴者協会、岡山県要約筆記団体連絡会、岡山県聴覚障害者の親の会、岡山県難聴者を持つ親の会、岡山県立岡山聾学校同窓会、岡山県立岡山聾学校PTA、内山下こだまの会等との連携を深めるため、会議を開催した。

- ア. 聴覚障害者の参政権をすすめる会
- イ. 聴覚障害者制度改革推進岡山県本部
- ウ. 東日本大震災聴覚障害者救援岡山県本部
- エ. 岡山県聴覚障害者相談員連絡協議会

(8) その他、目的達成に必要と認める事業

①岡山県保健福祉部障害福祉課と随時意見交換を行い、お互いの意志疎通を図ると共に、福祉制度の充実を目指した。

②各専門部と各支部の自主的な活動及び運営への援助を行った。

- ア. 各専門部の自主的な活動及び運営への援助

本協会組織の中に、組織部・手話対策部・福祉対策部・文化部・機関紙部があり、それぞれの事業を援助。

イ. 各支部の自主的活動及び運営への援助

8支部（岡山・倉敷・玉野・笠岡・井原・浅口・東備・美作）があり、必要に応じて各支部の事業を援助した。

③管理事業

総会・二団体会議・理事会・各専門委員会等を開催し、本協会の運営と事業の推進を図った。

ア. 総会

イ. 三役会議

ウ. 理事会

エ. 各種専門委員会